



クズザンポーラ！（ゾンカ語；こんにちは）日本はきっと随分暑い毎日だと思います。ブータンはすっかり雨季に入り、毎日じめじめと雨が降り続いています。雨のおかげか、気候は涼しく過ごしやすいですが、舗装されていない峠道はどろどろで、交通事故や通行止めが頻発するのもこの時期の特徴です。

雨季の任地口ベサー→



## 平成26年5月～平成26年7月の出来事

### ● ブータン東部訪問 ●

さて、2月から始まった春学期では、担当授業が実施されなかったため、ブータン国内の食品加工工場や先進農業センターを視察したり、栄養士会議に参加するなどして知見を深めることができました。これらの訪問についてレポートする前に、ブータン国内の旅行について少し特殊な事情があることをお伝えしたいと思います。

#### ① 都市と都市の間には標高 3,000mの峠あり。

ブータン東西を横断するハイウェイ、500km程度の距離ですが、標高差にすると実に約3,000mのアップダウンがあります。このため、ただ移動するだけで、猛暑から極寒まで味わえます。

#### ② 東部の都市へは一泊二日！

狭い山道を峠越えるため、バスは夜間は走行しません。そのため、ブータン東部へ旅行する際には、丸二日かかってしまうのです。

#### ③ 各県を越える時には移動許可証が必要！

旅行前に、入国管理局で移動許可証の申請をする必要があります。各峠の手前には必ずチェックポストがあり、外国人の移動を厳しく取り締まっているのです。

大変！？  
ブータン  
国内旅行！

## ● 訪問地① モンガル ●

ブータン南東部に位置するモンガル県は、県境の峠トムシンラ（3700m）からやや下り、町は比較的温暖な気候に恵まれています（標高約 1,800m）。モンガル県のウェンカル農業試験場ではこの気候を利用してさまざまな種類の果樹が試験栽培され、東部の農家への苗木の供給源として重要な役割を果たしています。ここでは先日ブータン国王よりその貢献を称えて勲章を授与された JICA 専門家より、ブータン農業について多くの実践的な知識を学ぶことができました。



## ● 訪問地② フムタン ●

ブータン中央部フムタン県は、東部へ国内旅行する際の宿泊地でもあり、多くの寺院や伝説が残る聖地でもあります。標高が高い（約 2,600m）ため、ソバやトウモロコシの生産が盛んで、酪農も広く行われています。フムタンには、大学の学生らとともに、先進的なチーズ工場を見学し、乳加工について学ぶことができました。



## ● 訪問地③ ゲレフ ●

ブータン南部サルパン県にある、標高約 500m の町ゲレフは、インド国境ゲートを持つ国境の町です。ここでブータン国内の栄養士が集まる栄養士会議が開催され、幸運にも出席することができました。この会議では、現在わたしが関わっている大学での学科新設に向けたアンケート調査や、意見交換をすることができ、大変有意義なものでした。

